# EUROPEAN PATENT OFFICE



# **Patent Abstracts of Japan**

**PUBLICATION NUMBER** 

60167129

**PUBLICATION DATE** 

30-08-85

**APPLICATION DATE** 

25-01-85

APPLICATION NUMBER

60010861

APPLICANT: HITACHI LTD;

INVENTOR: MAEDA TAKESHI;

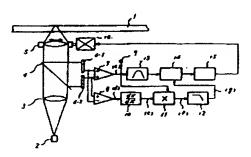
INT.CL.

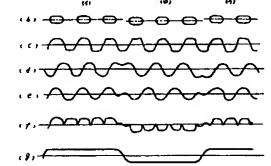
G11B 7/00 G11B 7/09 G11B 7/24

TITLE

RECORDING CARRIER AND

INFORMATION PROCESSING DEVICE





ABSTRACT:

PURPOSE: To insert a pilot signal to main information by recording a phase discriminating signal for tracking control of an optical disc while changing the depth of grooves of pits of a main information signal or a guide track.

CONSTITUTION: Recording pits are recorded while wobbling at a period of an amplitude shorter than the pit width. The pit depth is switched to d1 and d2 synchronously with the period of wobbling as shown by a figure (a). At this time, a track is scanned with a light spot, and directions of reproduced outputs in areas having the pit depth d1 and areas having the pit depth d2 are reverse to each other with centers of pits as O in a differential output (d) of detectors 6-1 and 6-2 which are divided into two in the scanning direction. An output (c) of an adder is the main information signal. This signal is taken out by a band-pass filter and is processed in a synchronous detecting circuit 14 together with a phase detecting signal (g).

COPYRIGHT: (C)1985, JPO& Japio

BEST AVAILABLE COPY

## 19日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

### 四公開特許公報(A) 昭60 - 167129

Solnt Cl.4 識別記号 庁内整理番号

母公開 昭和60年(1985)8月30日

G 11 B 7/00 A - 7734-5D C - 7247-5D

B-8421-5D

審査請求 有

発明の数 2 (全4頁)

毎発明の名称

記録担体及び情報処理装置

创特 四60-10861

昭56(1981)1月26日 御出

前実用新案出願日接用

砂発明 者 俊 夫 豊川市白鳥町野口前9番地の5 株式会社日立製作所豊川

工場内

砂発 眀  $\blacksquare$ 

国分寺市東恋ケ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所中

央研究所内

砂発 明 者 前 æ 志

国分寺市東恋ケ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所中

央研究所内

砂出 頤 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田較河台四丁目6番地

弁理士 小川 勝男 砂代 理 人

外1名

発明の名称 配録担体及び情報処理装置 特許額求の範囲

- 1. 取射される光ビームにより情報がトラッ クに沿って記録又は、及び再生される記録担体で あって、該トラックをその形成方向と直角方向に ・一定の周期で微小規動すると共に、抜機小扱動に 阅期して故トラックの故さを異なる少なくとも 2 つの領域に分けて記録したことを特徴とする記録
- 2. 特許請求の範囲第1項記載の記録組体に おいて、上記トラックが、上記光ピームの彼長の 1/4より扱い光学的衆さの領域と1/4より深 い光学的深さの領域を存することを特徴とする記
- 3. 配験担体に光ビームを取射して、情報を 該記録担体のトラックに沿って記録又は主及び再 生する情報処理装置において、験トラックをその 形成方向と直角方向に一定の周期で微小振動する と共に、該做小扱動に問期して該トラックの欲さ

を異なる少なくとも2つの領域に分けて記録した 記録担体を用いると共に、該記録担体からの反射 光を電気信号に変換する2分割光検出器と、数2 分割光検出器の差出力を微分した信号と譲2分割 光検出器の和出力とを掛算して額トラックの深さ 変調に関する信号をとり出す手段と、該手段の出 力を用いて酸 2 分割光検出器の和出力に含まれる 跋微小振動に関する信号を問期検波する検放手段 とを存し、鉄袋波出力により鉄光ビームの風射位 題を制御することを特徴とする情報処理装置.

発明の辞典な説明

(発明の利用分野)

本充明は記録担体の情報トラックに光ピームを 風射し情報の読み取りを行う情報処理装蔵および その記録担体に関するものである。

[形明の容形]

惰報をトラック状に形成した光ディスク等を用 いて記録・再生する場合。そのトラックを追従す るためのトラッキング例仰を行なう必要がある。

その1つの手法として、紀録担体上のトラック